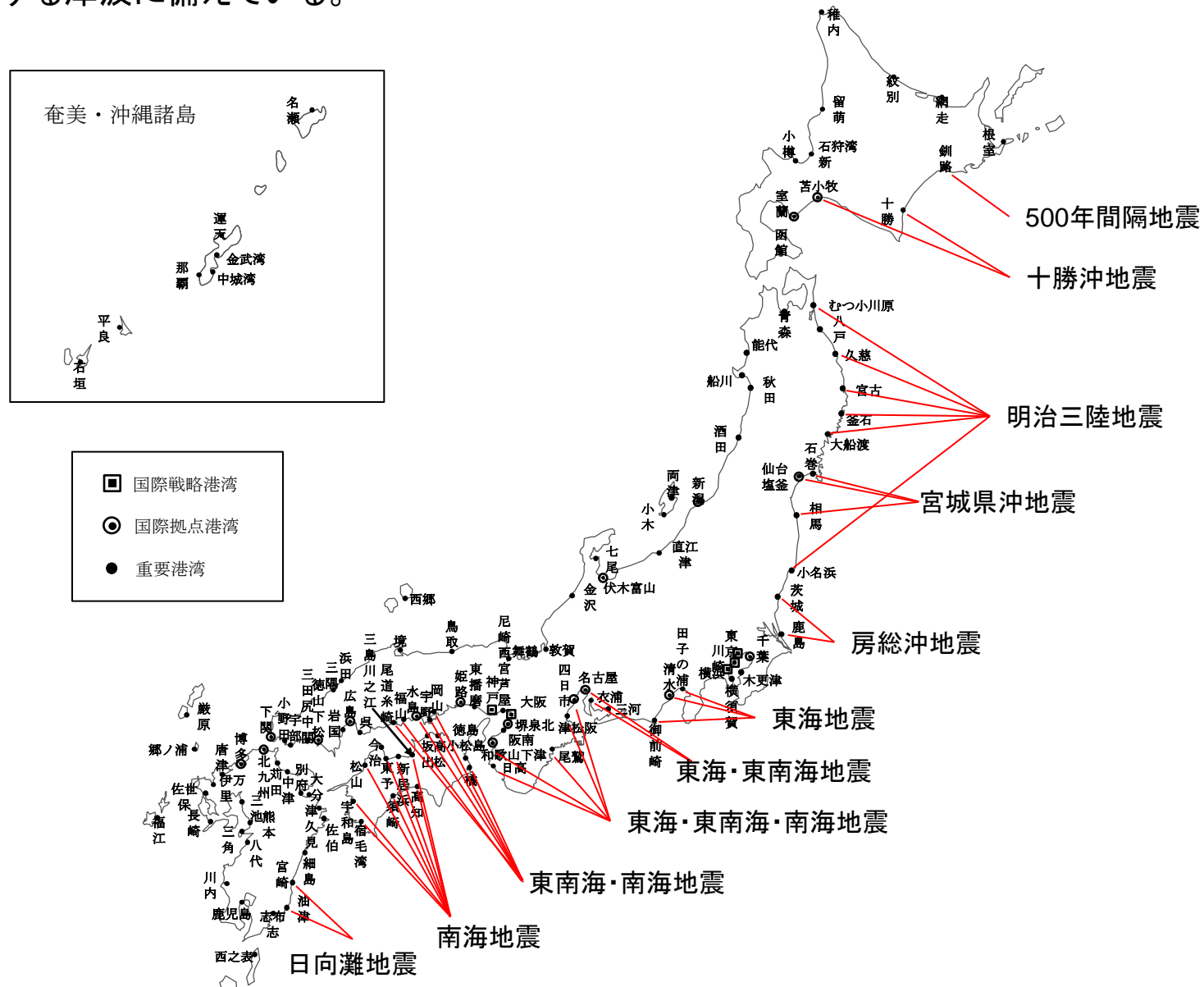


資料6 港湾における津波防災対策の現状

- 6-1 地域防災計画における想定地震
- 6-2 海岸保全基本計画における津波防護方針の記載
- 6-3 海岸堤防高さ充足率、ハザードマップの作成・公表状況、防災訓練の実施状況
- 6-4 避難施設及び音声伝達施設の状況
- 6-5 防災教育の成果等

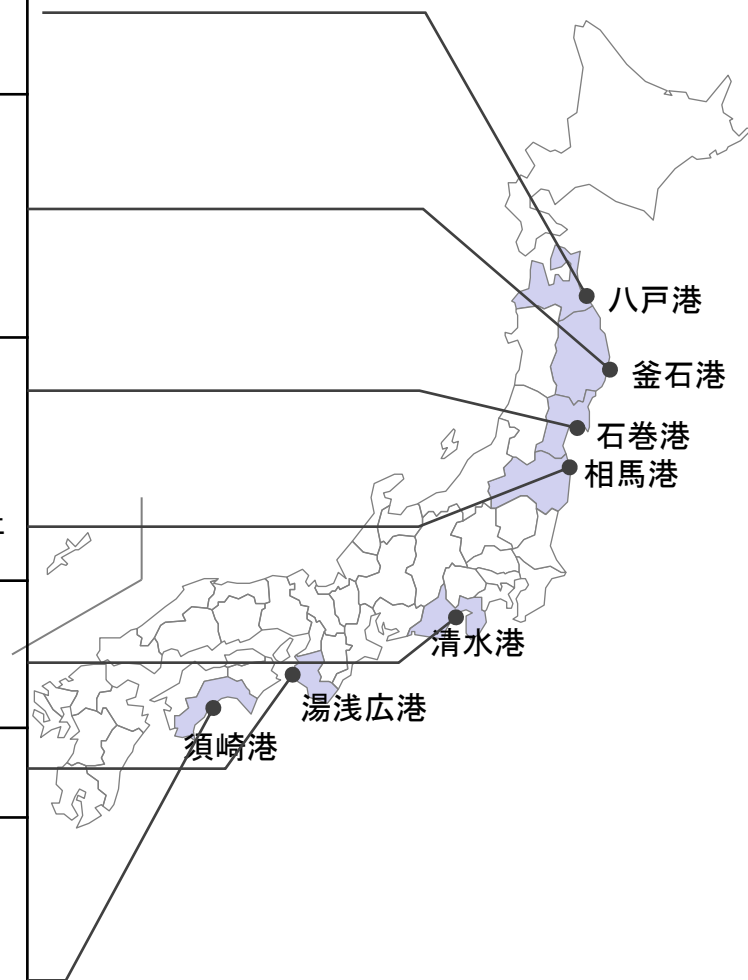
6-1 地域防災計画における想定地震(太平洋沿岸)

各港湾が所在する自治体は災害対策基本法に基づく地域防災計画において、想定地震を設定し、それに対する津波に備えている。

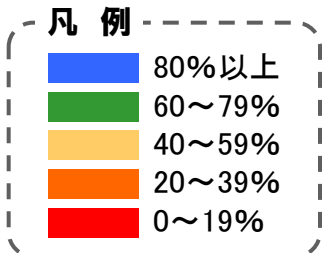
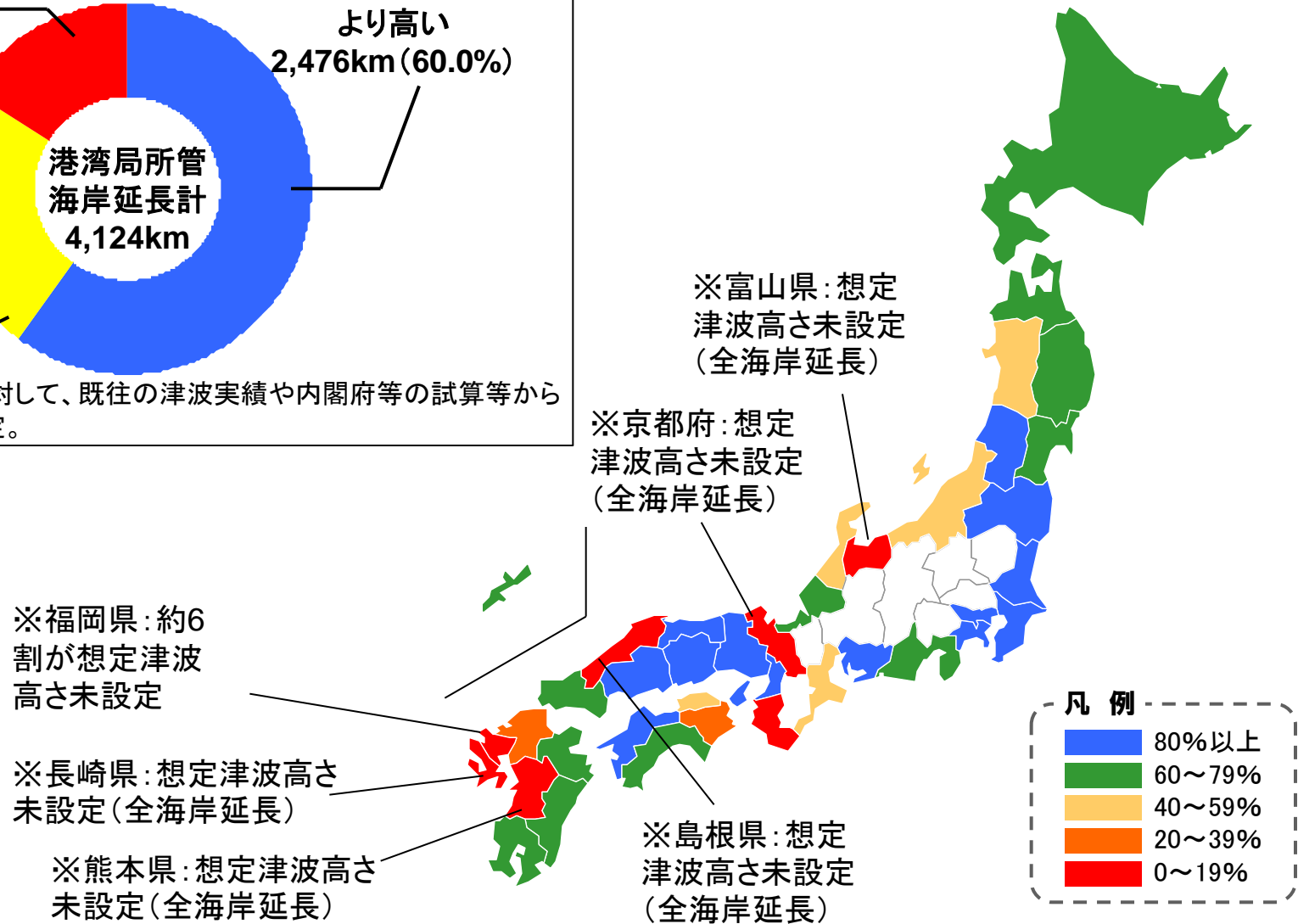
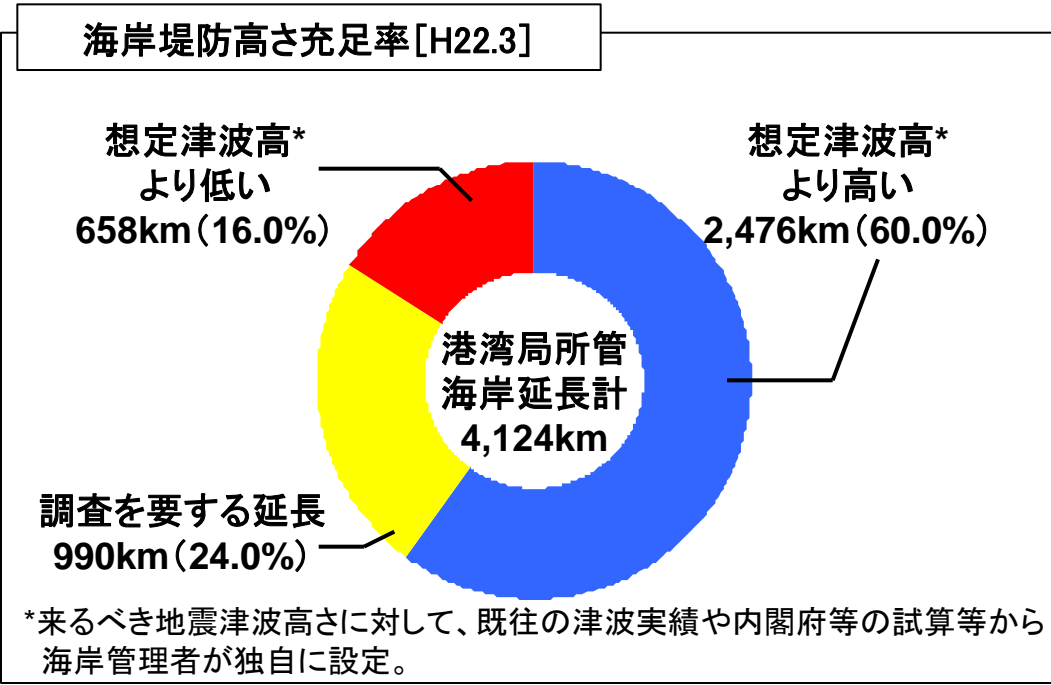


6-2 海岸保全基本計画における津波防護方針の記載

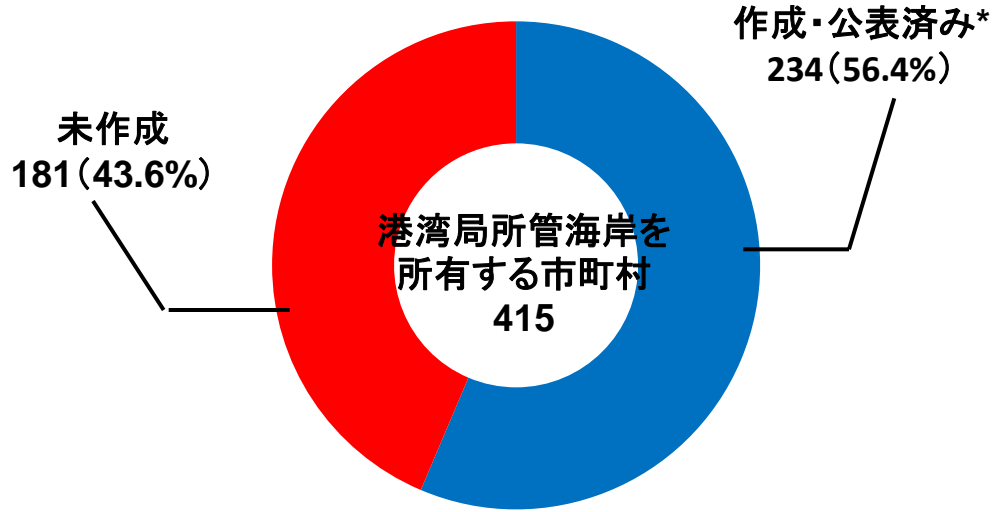
港名	海岸保全基本計画	津波の防護に関する方針等
八戸港	下北八戸沿岸 海岸保全基本計画	①防護水準 既往最大級の津波に対して防護する。また、地域住民と一体となったソフト対策も含め、総合的な防護を目指す。 ②海岸保全施設の整備 堤防・護岸、胸壁、津波防波堤、水門
釜石港	三陸北・南沿岸 海岸保全基本計画	①防護水準 多大な津波被害の実態や、シミュレーション等による検討を基にして、それらに対処する。 ②取り組み ・シミュレーション等による浸水区域、高さ、到達時間等の検討 ・津波対策の方策を地域と共に策定 ・地域防災計画や町づくり等と連携 等
石巻港	仙台湾沿岸海岸 保全基本計画	①防護目標 津波が高潮・高波よりも脅威となる区域が存在することから、津波に対応した防護を実施する。 ②計画実施における重点事項 津波・高潮対策の施設整備を中心としたハードな防災対策とソフト施策を中心とした災害の被害を最小限にするための減災対策を一体的に推進する。
相馬港		
清水港	駿河湾沿岸 海岸保全基本計画	①防護目標 発生が予想される東海地震に伴う想定津波高を防護する。 ②防護に関する取り組み(清水港ゾーン) 津波防災ステーション、胸壁・陸閘等の津波対策施設の整備。
湯浅広港	紀州灘沿岸 海岸保全基本計画	①整備計画の概要 防波堤の配置、護岸および水門の改良。
須崎港	土佐湾沿岸 海岸保全基本計画	①基本理念 南海地震の津波による大規模な浸水被害が想定される地域では、ソフトとハードの両面から防災機能を高める。 ②計画概要 津波対策として、津波防波堤、堤防、胸壁、陸こう等開口部の整備ならびに改良を行う。



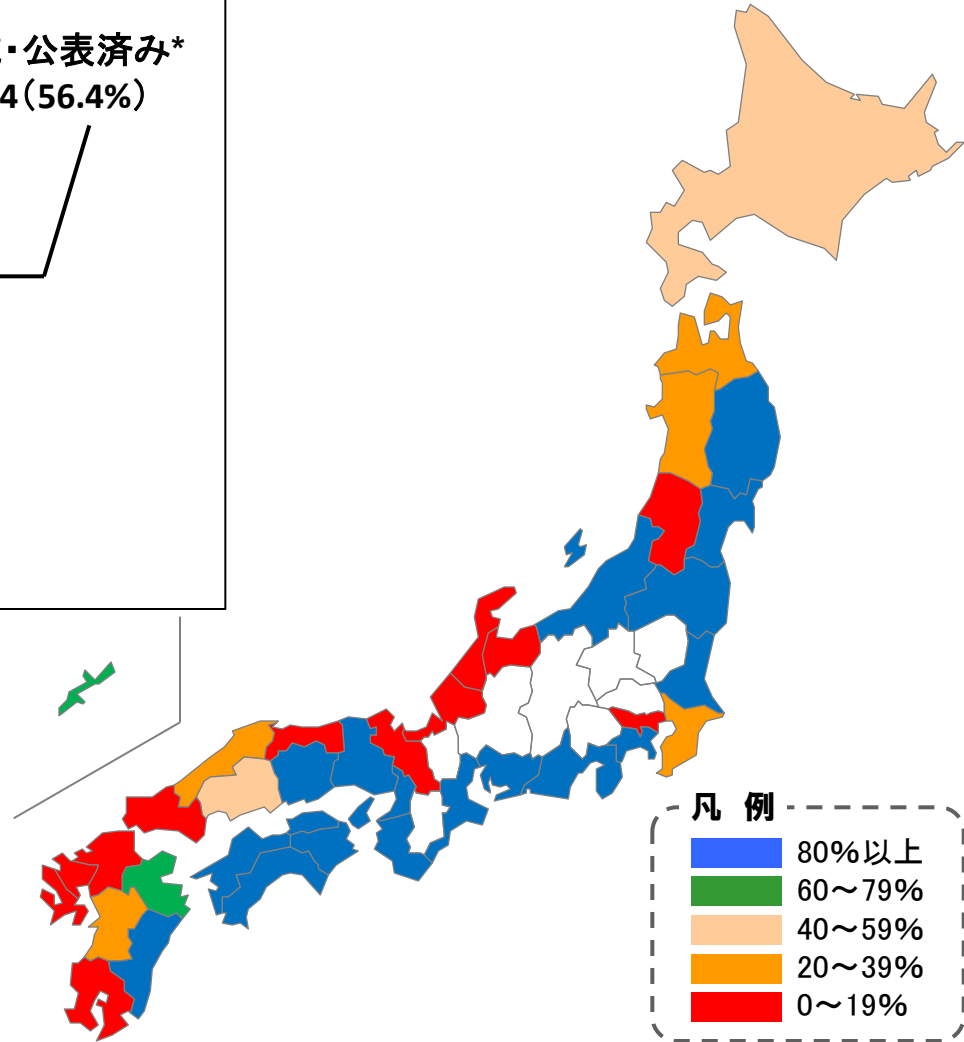
6-3 海岸堤防高さ充足率(港湾局所管海岸)



津波ハザードマップ作成・公表率(%) [H22.3]

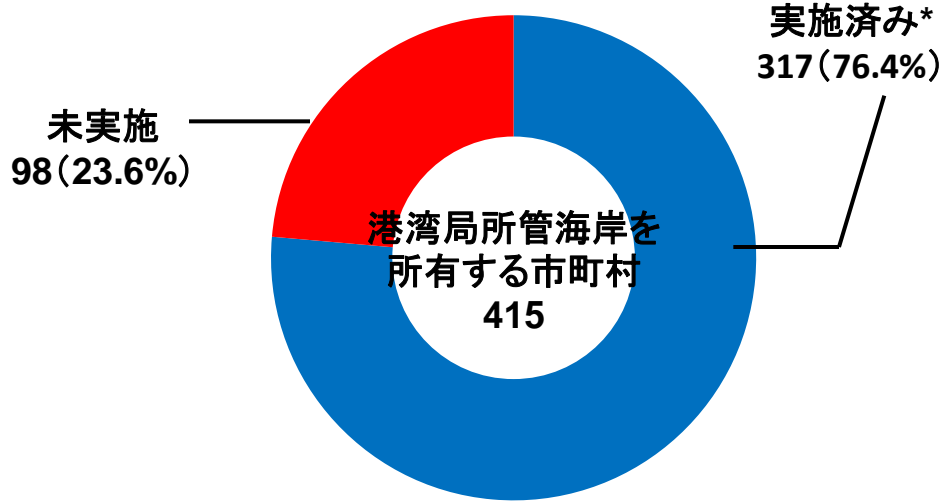


*一部の海岸で作成・公表済みの市町村を含む

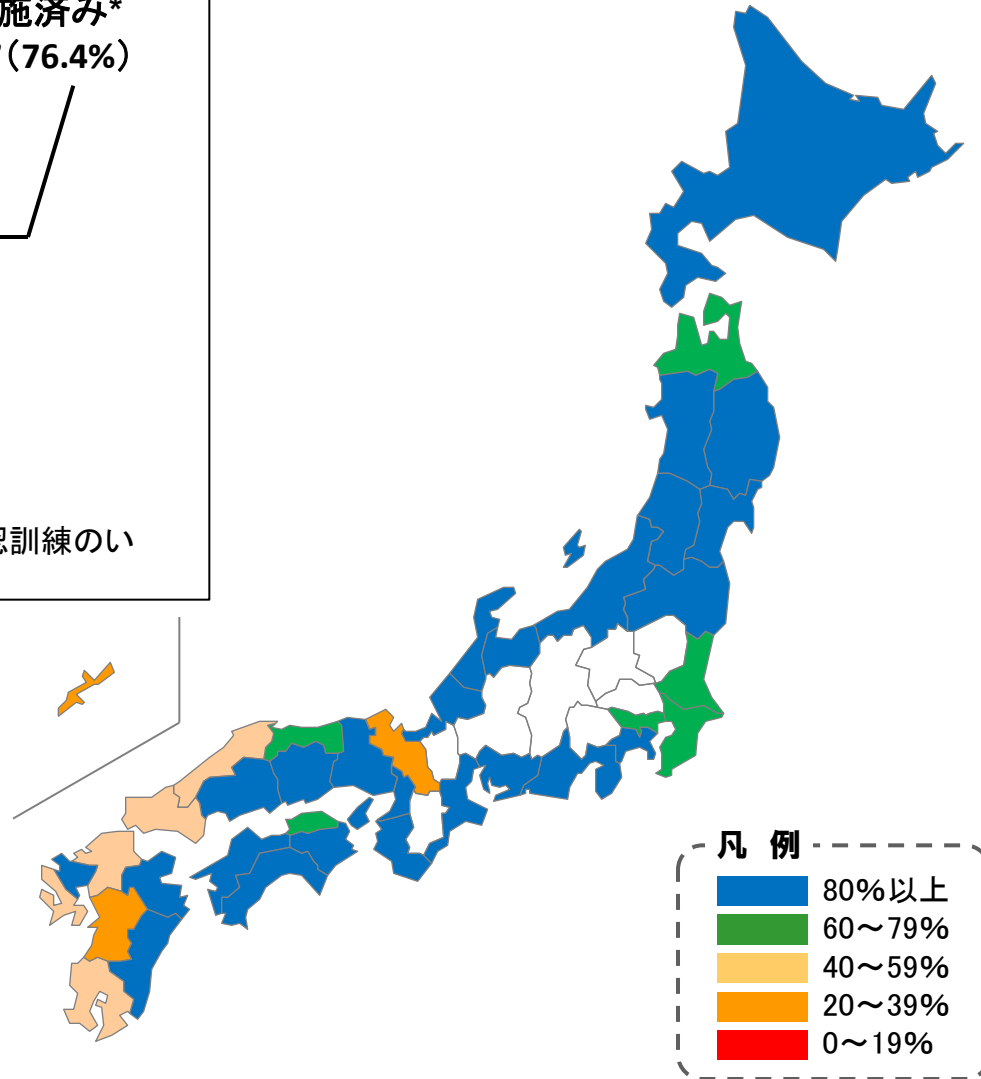


防災訓練の実施状況(港湾局所管海岸を所有する市町村)

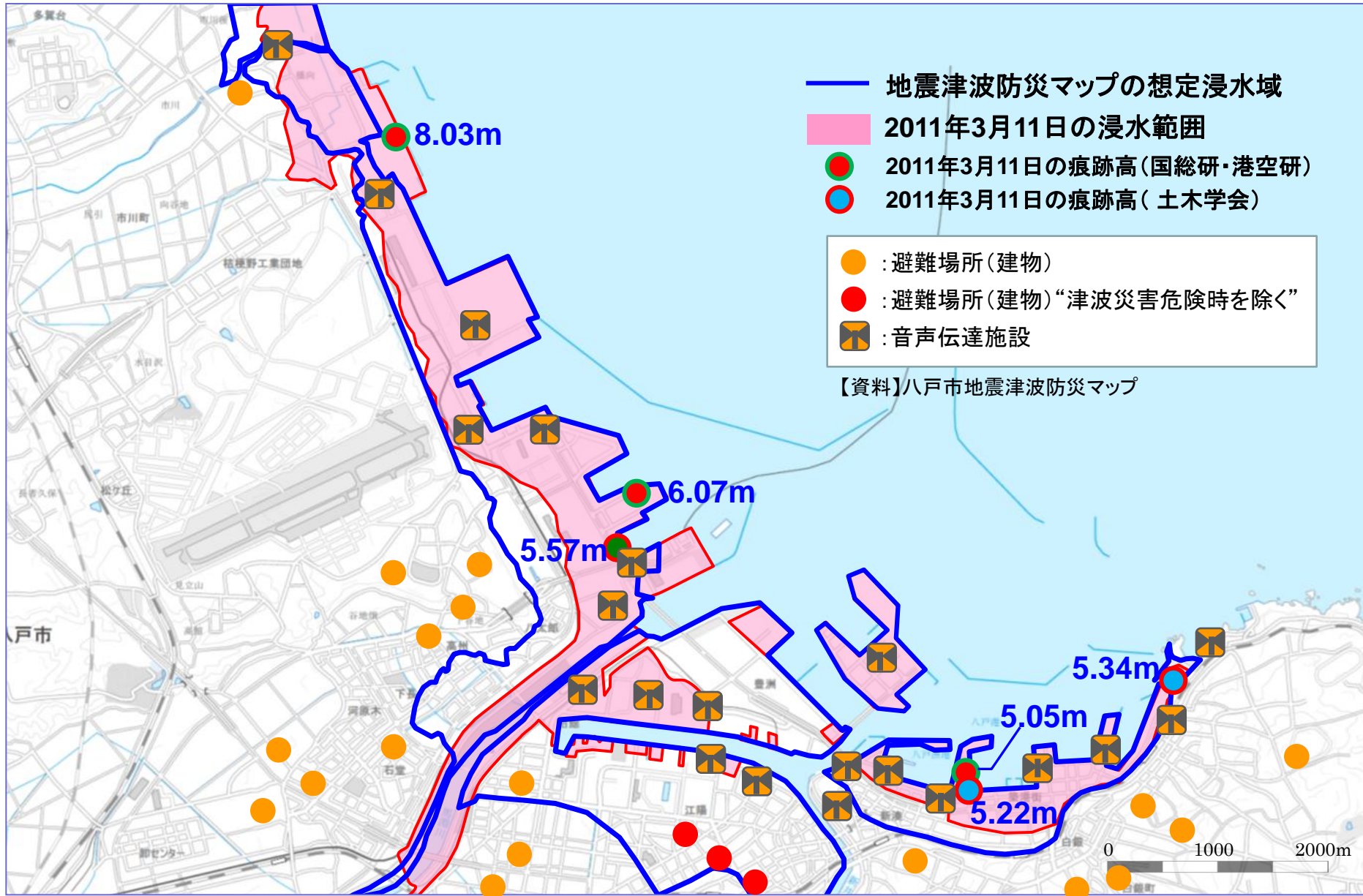
防災訓練の実施状況(%) [H22.3]



*水門等の閉鎖訓練、津波・高潮情報伝達訓練、地域住民確認訓練のいずれかを実施した市町村



6-4 避難施設及び音声伝達施設の状況(八戸港)

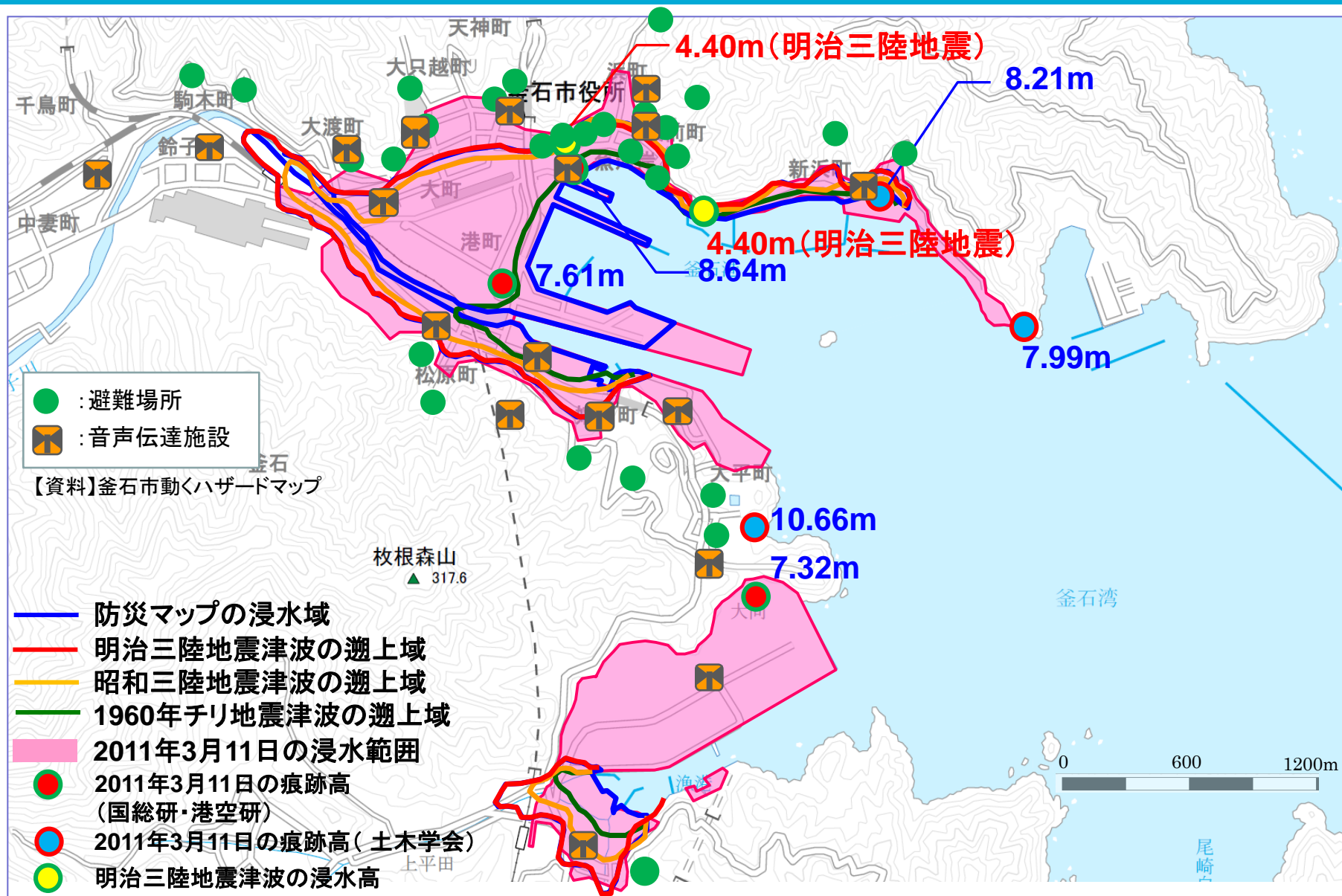


- 地震津波防災マップの想定浸水域
- 2011年3月11日の浸水範囲
- 2011年3月11日の痕跡高(国総研・港空研)
- 2011年3月11日の痕跡高(土木学会)
- : 避難場所(建物)
- : 避難場所(建物)“津波災害危険時を除く”
- : 音声伝達施設

【資料】八戸市地震津波防災マップ

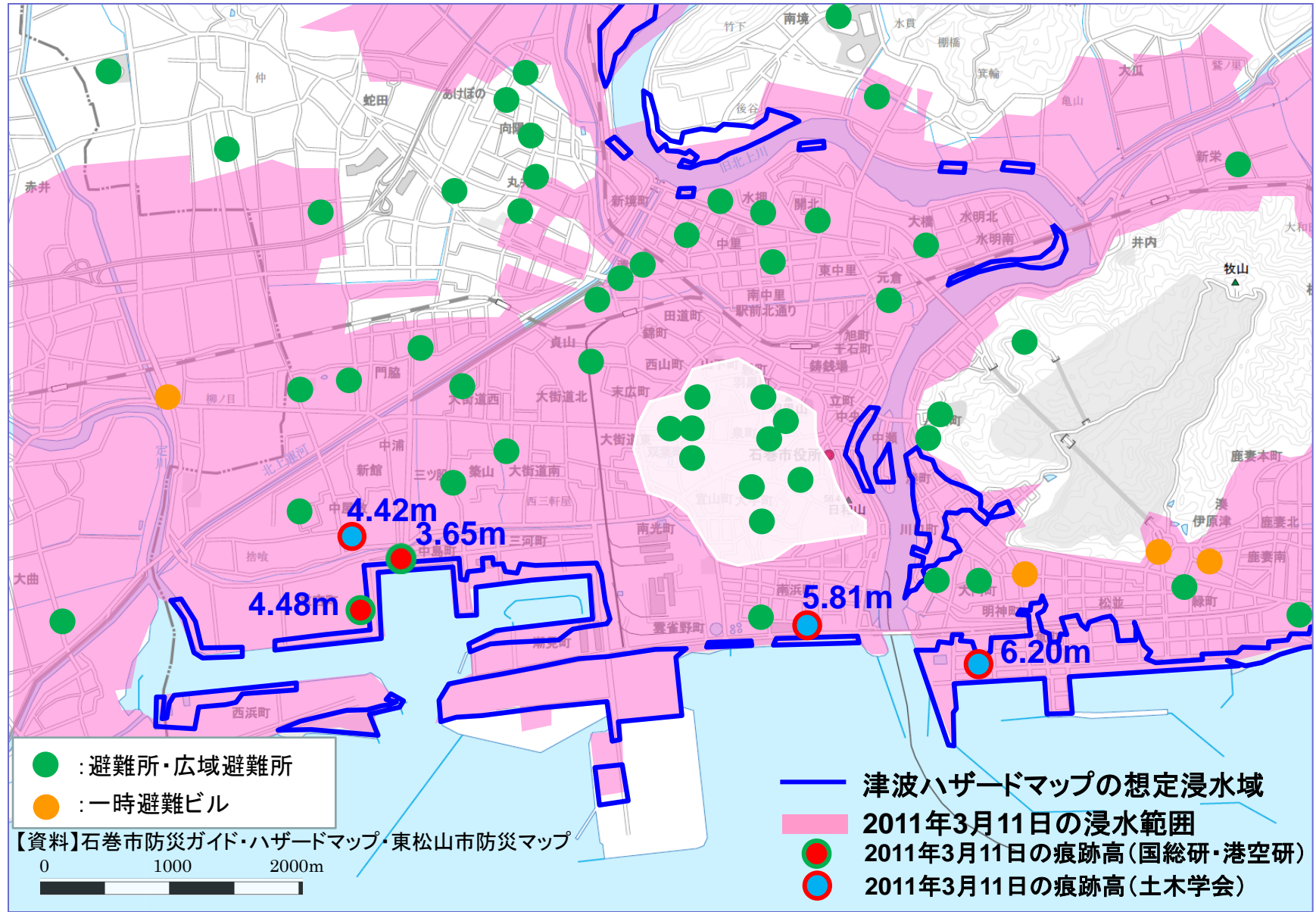
※浸水域は、八戸市地震津波防災マップ、国土地理院浸水範囲概況図(2011年東北地方太平洋沖地震津波)をもとに作成
 ※2011年の痕跡高のうち、国総研・港空研は国土交通省国土政策総合研究所、(独)港湾空港技術研究所の現地調査結果(T.P.基準換算)である。
 ※2011年の痕跡高のうち、土木学会は『東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ』の現地調査結果(T.P.基準換算)である。

避難施設及び音声伝達施設の状況(釜石港)



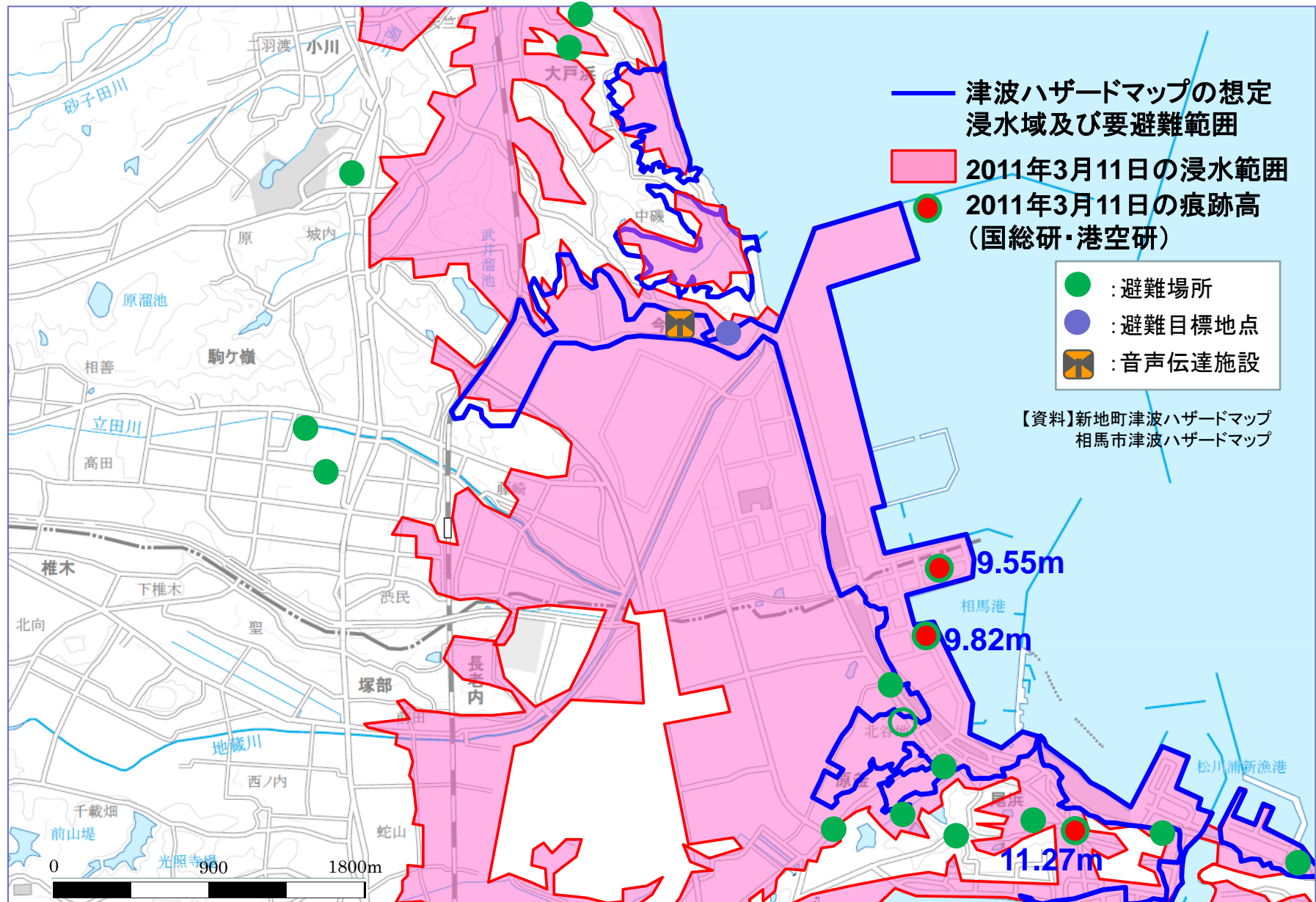
※浸水域は、釜石市防災マップ、国土地理院浸水範囲概況図(2011年東北地方太平洋沖地震津波)をもとに作成
 ※2011年の痕跡高のうち、国総研・港空研は国土交通省国土政策総合研究所、(独)港湾空港技術研究所の現地調査結果(T.P.基準換算)である。
 ※2011年の痕跡高のうち、土木学会は『東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ』の現地調査結果(T.P.基準換算)である。
 ※明治三陸地震津波による浸水高は、内務省土木試験所報告の数値。

避難施設及び音声伝達施設の状況(石巻港)



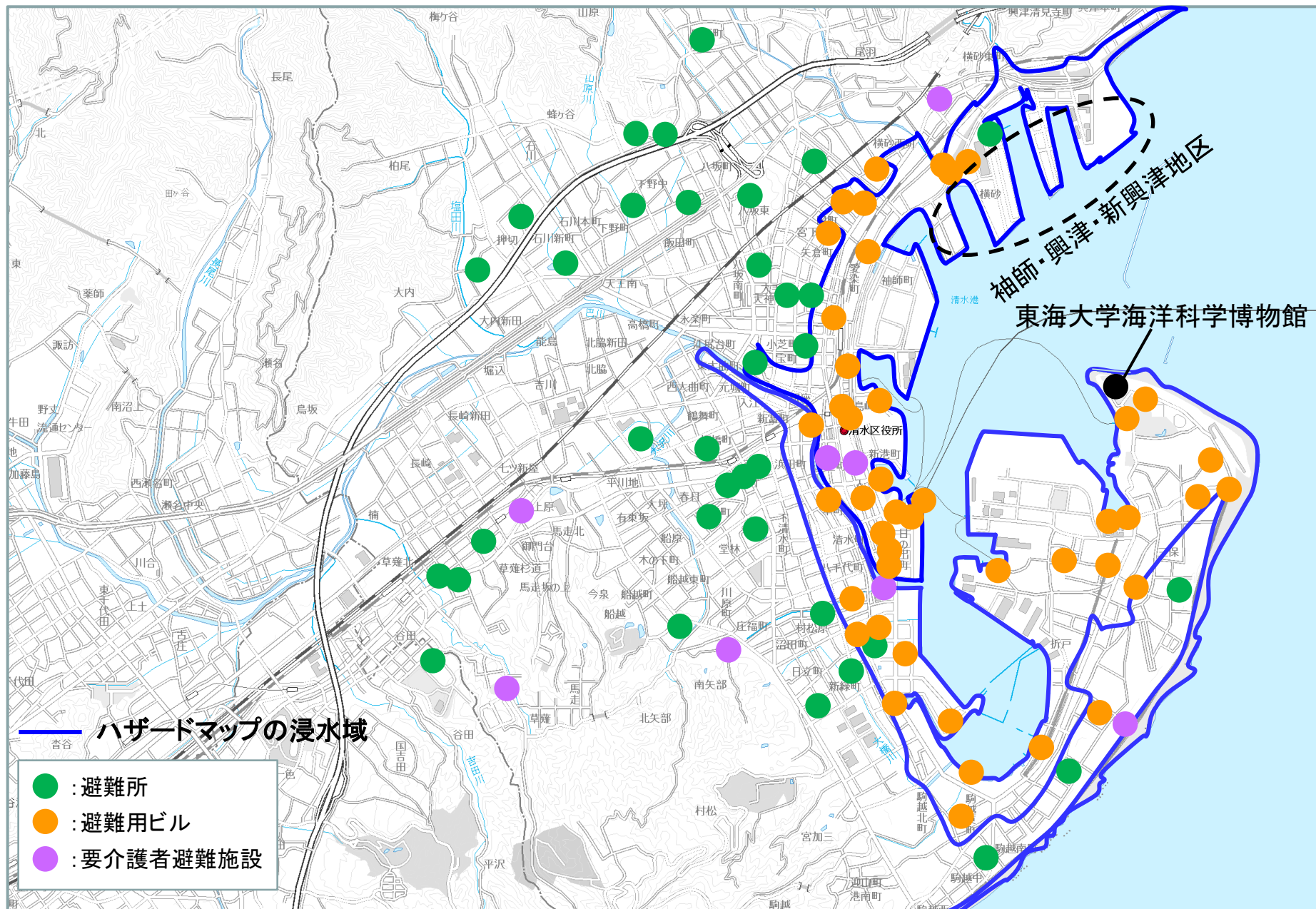
※浸水域は、石巻市津波ハザードマップ、国土地理院浸水範囲概況図(2011年東北地方太平洋沖地震津波)をもとに作成
 ※2011年の痕跡高のうち、国総研・港空研は国土交通省国土政策総合研究所、(独)港湾空港技術研究所の現地調査結果(T.P.基準換算)である。
 ※2011年の痕跡高のうち、土木学会は『東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ』の現地調査結果(T.P.基準換算)である。

避難施設及び音声伝達施設の状況(相馬港)



※浸水域は、新地町・相馬市津波ハザードマップ、国土地理院浸水範囲概況図(2011年東北地方太平洋沖地震津波)をもとに作成
 ※2011年の痕跡高のうち、国総研・港空研は国土交通省国土政策総合研究所、(独)港湾空港技術研究所の現地調査結果(T.P.基準換算)である。
 ※2011年の痕跡高のうち、土木学会は『東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ』の現地調査結果(T.P.基準換算)である。

避難施設及び音声伝達施設の状況(清水港)



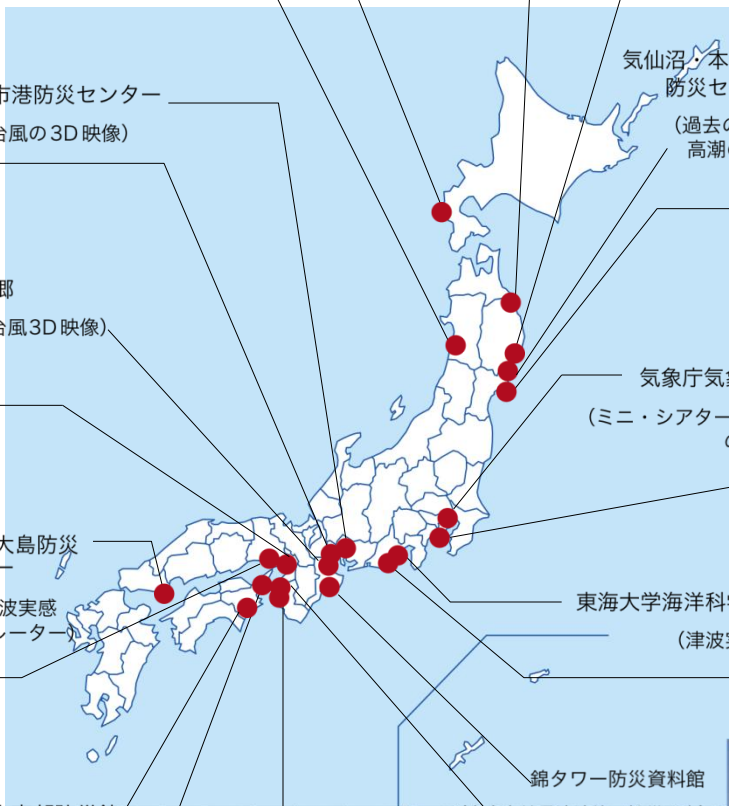
【出典】静岡市防災ハザードマップ(清水1区)HPより作成

避難施設及び音声伝達施設の状況(須崎港)



【出典】須崎湾津波ハザードマップHPより作成

全国の津波・高潮の体験学習施設



奥尻島津波館
(ドキュメント北海道南西沖地震)

久慈市防災センター
(津波シアター)

大船渡市立博物館
(津波浸水域図)

秋田県消防学校防災センター
(津波のメカニズム模型)

気仙沼・本吉広域防災センター
(過去の津波・高潮の映像)

唐桑半島ビジターセンター・津波体験館
(津波疑似体験館)

名古屋市港防災センター
(伊勢湾台風3D映像)

伊勢湾台風記念館
(伊勢湾台風災害記録)

輪中の郷
(伊勢湾台風3D映像)

津波・高潮ステーション
(津波高潮体感シアター)

気象庁気象科学館
(ミニ・シアター津波発生の仕組み)

なぎさギャラリー
(3D津波浸水予測アニメ)

山口県大島防災センター
(地震津波実感シミュレーター)

東海大学海洋科学博物館
(津波実験水槽)

人と防災未来センター
(大型スクリーンの実写映像)

静岡県地震防災センター
(TSUNAMIドームシアター)

徳島県立南部防災館
(大津波の被害写真)

錦タワー防災資料館
(東南海地震津波等の被災写真)

稲むらの火の館
(津波シミュレーション)

福浦港津波防災ステーション
(津波体感シミュレータ)

和歌山市消防局防災センター
(津波ハザード)

〔インターネット上の学習施設〕
 消防防災博物館 (<http://www.bousaihaku.com/cgi-bin/hp/index.cgi>)
 気仙沼「津波」フィールドミュージアム (<http://tsunami.j-biz.jp/>)
 兵庫県防災学習 (<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/HazMap/top.htm>)